

公募要項（水質分析化学）

1. 公募の目的

福岡女子大学は、グローバル化時代に期待される女性人材を育成するため、「教養」と「国際」を重視した一学部体制の新たな教育システムを構築、推進している。また、環境科学科では、人間社会の「持続可能性」を実現するため、自然科学と社会科学の文理に亘る学問的知識を統合して考える能力を修得させ、国際化する多様な現代社会の中で環境や社会システムの問題を解決に導くことができる人材を育成するための教育研究を行うことを目標としている。本学の理念及び環境科学科の教育目標に賛同し、その教育・研究を実践する教員を下記のとおり公募する。

2. 募集人員

1名 専任教員（助教）

3. 専門分野

水質分析化学

4. 職務内容

国際文理学部の教員として以下の職務を行う。なお、担当科目については、着任後調整することがある。

●国際文理学部環境科学科科目の教育・指導

講義・実験の科目担当：

基礎分析化学、基礎化学実験、機器分析基礎実験、身の回りの科学実験（オムニバス）等
実験・実習の助手：

環境分析化学実験、基礎物理学実験、環境物質論及び実習ⅡA、環境物質論及び実習ⅡB等

●その他、大学管理運営に関する業務

5. 採用条件

(1) 身分

専任教員

(2) 任期

5年の任期制（再任不可）

(3) 着任時期等

2023（令和5）年4月1日

(4) 給与

「公立学校法人福岡女子大学教員年俸規程」に定める年俸を支給する。

6. 応募資格

(1) 着任時に博士の学位（外国で授与されたこれに相当する学位を含む。）を有すること。

(2) 実務経験・大学における教育経験を有することが望ましい。

(3) 国籍は問わないが、日本語による授業が可能であること。また、英語による授業が可能であることが望ましい。

7. 応募締め切り

2022（令和4）年12月26日（月）17時必着

8. 選考方法

選考は書類審査を経て、二次審査（一次審査合格者に対して実施予定。該当者には個別に連絡する。）を面接および必要に応じ模擬授業等により1月に行う。なお、二次審査は本学で行うが、旅費は支給しない。また、面接時には大学発行の卒業・修了証明書および学位授与証明書（あるいは学位を証明できるもの）（いずれもコピー可）を提出のこと。

9. 選考結果の通知

選考手続き終了後、直接本人あてに通知する。（原則として e-mail によって行う。）

10. 応募方法

(1) 応募書類（様式は、[ア]は本学の様式、[イ]は文部科学省別記様式第4号その2を使用のこと。[ウ]以降の様式は任意。なお、上記 [ア]の様式は本学のホームページから、[イ]の様式は文部科学省または本学のホームページより取得できる。）

ア	履歴書（直接連絡が取れる e-mail アドレスおよび電話番号を明記すること）	1部
イ	教育研究業績書	1部
	●教育業績	
	●職務上の業績	
	●研究業績	
ウ	主要論文別刷5編程度および日本語による要旨（各編200字程度）	各1部
エ	これまでの活動や実績を中心に、応募理由および本学着任後の日本語による抱負（1000字程度）	1部
オ	推薦書（推薦人の連絡先（E-mail アドレスを含む）を明記のこと）または、推薦者として照会できる方2名の氏名、連絡先（E-mail アドレスを含む）を記載した書類	1部

(2) 応募書類の提出先と提出方法

〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1

公立大学法人 福岡女子大学 国際文理学部長 太田 雅規 宛

封筒の表に「応募書類在中（水質分析化学）」と朱書きし、レターパック、簡易書留または宅配便など、配達状況のわかる方法により送付のこと。なお、応募書類は返却しない。

(3) 問合せ先

環境科学科長 池田宜弘 ikeda@fwu.ac.jp

11. その他

(1) 男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、女性の積極的な応募を歓迎する。

(2) 本学の国際化推進の方針に則り、外国籍を有する者の応募も歓迎する。

(3) 福岡女子大学では、「障害者基本法（昭和45年法律第84号）」、「障害者の雇用の促進等に関する法律（昭和35年法律第123号）」および「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号）」の趣旨に則り、教員の選考を行う。